

# 食文化・味覚雑誌

## 目次総覧



浦西和彦・堀部功夫・荒井真理亜 共編

A5・860頁 定価(本体22,000円+税) ISBN978-4-8169-2524-5 2015年2月刊行

### 食糧難時代から現代まで

●戦後創刊され、昭和・平成にわたる日本の食文化に関する雑誌の解題と目次細目集です。

●北大路魯山人編集「独歩」、大河内昭爾編集「食食食(あさめしひるめしばんめし)」など、20誌2,000冊について、創刊号から終刊号までの目次細目45,000点を収録しています。

### 食文化・世相・社会研究の宝庫

●各誌ごとに発刊の由来、編集者、主な執筆者、誌名変遷などの解題を掲載、その特色や変遷がわかります。

●食の雑誌には林芙美子や村上春樹など著名人も多数執筆、日本の食生活・食文化、社会・文学・歴史・風俗研究のための基礎資料としても役立ちます。

●作家・文化人名から各誌を横断検索できる「執筆者名索引」付き。

#### 【収録雑誌一覧】

|                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 『ホームサイエンス』          | 1946年(昭和21年)～1948年(昭和23年) |
| 『酒』                 | 1950年(昭和25年)～1997年(平成9年)  |
| 『ほろにが通信』            | 1950年(昭和25年)～1955年(昭和30年) |
| 『ホロニガ』              | 1967年(昭和42年)～1969年(昭和44年) |
| 『独歩』魯山人・生活誌         | 1952年(昭和27年)～1953年(昭和28年) |
| 『嗜好』(第二次)           | 1955年(昭和30年)～2008年(平成20年) |
| 『嗜好別冊』              | 1960年(昭和35年)～2002年(平成14年) |
| 『洋酒天国』              | 1956年(昭和31年)～1964年(昭和39年) |
| 『あじくりげ』             | 1956年(昭和31年)～2010年(平成22年) |
| 『うまいもの』             | 1955年(昭和30年)～1962年(昭和37年) |
| 『季刊うまいもの』           | 1979年(昭和54年)～1992年(平成4年)  |
| 『随筆雑誌・大阪暖簾』         | 1958年(昭和33年)～1960年(昭和35年) |
| 『サッポロ』              | 1958年(昭和33年)～1979年(昭和54年) |
| 『九州の味』              | 1960年(昭和35年)～1966年(昭和41年) |
| 『ビール天国』             | 1963年(昭和38年)～1964年(昭和39年) |
| 『サントリー天国』           | 1965年(昭和40年)～1965年(昭和40年) |
| 『食食食 あさめしひるめしばんめし』  | 1974年(昭和49年)～1986年(昭和61年) |
| 『食の文学館』             | 1987年(昭和62年)～1990年(平成2年)  |
| 『SUNTORY・QUARTERLY』 | 1979年(昭和54年)～2009年(平成21年) |
| 『日本百店』              | 1962年(昭和37年)～1962年(昭和37年) |

#### 【執筆事例】

井上靖(小説家、詩人)／巖谷大四(文芸評論家)／北大路魯山人(画家、陶芸家、料理家)／白洲正子(随筆家)／高橋義孝(ドイツ文学者)／檀一雄(小説家、随筆家)／辻嘉一(料理人、「辻留」店主)／本嘉次郎(映画監督、俳優、随筆家)／吉田健一(英文学者、エッセイスト)／吉村昭(小説家)／淀川長治(映画評論家)...

#### ●編者略歴●

浦西和彦 うらにし・かずひこ  
関西大学名誉教授  
著書『浦西和彦著述と書誌』全4巻(2008～2009年、和泉書院)

堀部功夫 ほりべい・いさお  
池坊短期大学名誉教授  
著書『銀の匙』考(1993年、翰林書房)

荒井真理亜 あらい・まりあ  
相愛大学人文学部准教授  
著書『上司小剣文学研究』(2005年、和泉書院)

2016.9

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845  
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■貴店名

注文書

### 食文化・味覚雑誌目次総覧

定価(本体22,000円+税) ISBN978-4-8169-2524-5

冊



9784816925245

『洋酒天国』

1956年(昭和31年)4月～1964年(昭和39年)2月(全60冊)

【解題】

『洋酒天国』は、1956年4月10日に創刊され、1964年2月15日発行の第61号をもって終刊となった洋酒の寿屋(のちのサントリー)のPR誌である。第1号から第50号までは発行日が遅れたり、時々休んだりしながらも、基本的には毎月発行されたが、1961年6月30日発行の第51号から季刊となった。編集発行人は開高健である。発行所は洋酒天国社であるが、その住所が第1号から第6号までは大阪市北区堂島浜通二丁目二ノ一株式会社寿屋内、第7号から第33号までは東京都中央区日本橋茅場町二ノ一〇、第34号から第54号までは東京都千代田区大手町二の四新大手町ビル三階、第55号からは東京都中央区日本橋通り一の四栄太楼ビル洋酒の寿屋東京支店内となっている。さらにこの間、社名が「洋酒の寿屋」から「サントリー」に変更されたため、第57号からは住所の末尾が「サントリー株式会社東京支店内」と改められている。印刷者は柳川太郎で、印刷所は凸版印刷株式会社板橋工場である。誌型は、第1号から第50号までと第57号から第61号までがB6判、第51号から第56号までがA5判である。総頁数も各号で一定していない。大方40頁前後のものが多いが、季刊となった第51号、53号、55号、56号は百頁を超えている。写真は杉木直也が担当した。

なお、『洋酒天国』については、小玉武の『「洋酒天国」とその時代』(2007年5月30日発行、筑摩書房)、三島万里『洋酒メーカー広報誌の研究4「洋酒天国」と「サントリー・クォーター」について(1)―』(『文化女子大学紀要人文・社会科学研究』(第15号、2007年1月発行)に詳しい。

(荒井真理亜)

0870

第1号

1956年(昭和31年)

無題(創刊のことば)  
呑気話(1)(吉田健一)  
ビボ・エルゴ・スム  
西洋合財袋(1)ウイスキーの語  
酒という字  
パリの小さい酒場(文と写真・フ  
蚤の市コレクション公開パイ  
味を楽しむ(中谷宇吉郎)  
美味求真  
フランスの酒(文と絵・佐野繁  
名もなき葡萄酒のはなし(福  
お国じまん  
対談 戦前と戦後のスコット  
サロン・ド・ノメエアンショ  
と絵・青山義雄)  
私の Cocktail  
チェリースマイル(横山隆  
ミステイ・グリーン・フイ  
女性に好かれる Cocktail

『食食食 あさめし ひるめし ばんめし』

1974年(昭和49年)12月～1986年(昭和61年)2月(全45冊)

【解題】

味覚エッセイ雑誌「あさめしひるめしばんめし」は、1974年(昭和49年)12月から1984年(昭和59年)10月まで40冊、1985年(昭和60年)1月から翌年2月まで「食の雑誌・あさめしひるめしばんめし」と改題して5冊、計45冊がみき書房から刊行された。春夏秋冬の年四回の季刊出版である。誌名は「食食食」と記し、「あさめしひるめしばんめし」と読ませている。創刊号から第6号までの編集兼発行人は、佐々木芳人である。第7号から第45号までの責任編集、編集長は大河内昭爾であった。

創刊号巻末にある「ぷうす・かふえ」に、佐々木芳人は、次のように述べている。

「●たいへん急な話であった。昔とった杵柄というか、雀百まで踊りを忘れずとか、久方ぶりに、インキの香りを嗅げるかと、腰を上げるのは軽かった。が、その時点では、まさしく「編集長ただいま一人」で、いささか慌てざるをえなかった。新聞記者時代に培ったあっちの根、こっちの根を辿り出し、探し廻って、電話にしがみつきて、筆者のみなさんにご無理をお願いした。心よくお引受け下さって嬉しかった。雀躍したといった方がいい。

この「あさめしひるめしばんめし」には、小島政二郎や吉村昭や映画評論家の淀川長治らが食に関するエッセイを連載した。大河内昭爾が編集長になってからは、エッセイだけではなく、優れた味覚小説の発掘に力をそそぎ、耕治人「料理」「二十年の糧」、矢田津世子「茶粥の記」、岡本かの子「鮎」「食魔」、福田百合子「外郎の家」、上司小剣「鱧の皮」、吉行淳之介「食卓の光景」、永井龍男「黒い御飯」、柏原兵三「台所」、谷崎潤一郎「美食倶楽部」などを掲載した。また、「文壇味覚特集」「総特集戦争と食欲」「特集オリент急行」「特集浅草」「特集上野」「特集隅田川」などの特集が注目される。

(浦西和彦)

1824

創刊号・冬

1974年(昭和49年)12月10日発行

|                            |       |
|----------------------------|-------|
| あさめし(中山千夏)                 | 1     |
| 食いしん坊(1)(小島政二郎)            | 5～9   |
| パリの冬のおとずれ(仲沢紀雄)            | 10～13 |
| 七面鳥(薄井恭一)                  | 14    |
| うちの元旦(サトウサンペイ)             | 16～17 |
| おせち料理への思い(吉沢久子)            | 18～21 |
| お雑煮(浅田峰子)                  | 22～23 |
| 添加物と人間の出会い(出会いシリーズ1)(西丸震哉) | 24～27 |
| 文鳥が死んだ(和歌森玉枝)              | 28～30 |
| ひるめし(桐島洋子)                 | 33    |
| 私の好きな店                     |       |
| 『中本』(古谷綱武)                 | 34～35 |

1825

第2号・夏

1975年(昭和50年)3月10日発行

|                              |       |
|------------------------------|-------|
| あさめし(藤本統紀子)                  | 1     |
| 食いしん坊(2)(小島政二郎)              | 4～8   |
| フォワ・グラほか……(パリの春・夏・秋・冬)(仲沢紀雄) | 10～13 |
| さくら(薄井恭一)                    | 15    |
| 食い珍坊(*漫画)(小林治雄)              | 16～17 |
| おでんと日本人(古谷綱武)                | 18～21 |
| 私の好きな店                       |       |
| 『吉田』東京(松島雄一郎)                | 22～23 |
| 『オンディーヌ』横浜(青木茂)              | 23～24 |
| 『江南』名古屋(吉村真治)                | 24～25 |
| 『喜八』神戸(春川和子)                 | 25～26 |
| 食べもの屋考(井沢淳)                  | 26～27 |